

# カトリック 広島教区報

No. 59

カトリック 広島司教区

発行責任者 澤野耕司神父

編集者 山口道晴神父

広島市中区鞆町4-42  
広島司教区館内  
TEL (082) 221-6017

司教あいさつとメッセージ

## 全ての人の救いを願って…。

カトリック広島司教区長 ヨゼフ三末篤實司教

〔クリスマスのおいさつ〕

主のご降誕のお喜びを申し上げます。

キリストは私たち人類の救いのために、二千年前、ユダヤのベトレヘムにてお生まれになりました。それから早くも二千年の歳月が過ぎ去っておりますが、世の中はどのように変わってきたのでしょうか。

キリストは人類の救いのためにこの世に生まれ、私たちに救いへの道を示し、



教えていただきました。そして、復活を約束し、「私に従いたい人は、自分を捨て、日々の十字架を背負って私に従いなさい」と、言われています。

二〇〇四年、広島教区は世界平和記念聖堂献堂五十年を迎えます。

〔新年のおいさつ〕

新年のお喜びを申し上げます。

二〇〇五年が神さまの恵と祝福によって、世界平和へ一歩でも前進する一年となりますように。

六月十日、ローマのラテラノ聖ヨハネ大聖堂における「キリストの聖体」のミサの中で、ヨハネ・パウロ二世教皇は二〇〇五年十

### クリスマス・新年おめでとうのメッセージ

広島教区長 三末 篤實 司教  
司教総代理 斎藤 眞仁 神父

広島司教館

サビエルセンター  
山口教会

平和の使徒推進室

肥塚 正信 神父

広島地区

丸岡 重信 神父

観音町教会

野間 高臣 神父

祇園教会

豊田 大介 神父

呉教会

野間 重信 神父

廿日市教会

三喜田 虎太 神父

三條教会 (責任担当)

三喜田 虎太 神父

三次教会

三喜田 虎太 神父

翠町教会

三喜田 虎太 神父

三原教会

三喜田 虎太 神父

尾道教会

三喜田 虎太 神父

福山教会

三喜田 虎太 神父

向原教会

三喜田 虎太 神父

松江教会

三喜田 虎太 神父

岡山・鳥取地区

三喜田 虎太 神父

岡山教会

三喜田 虎太 神父

岡山南教会

三喜田 虎太 神父

西大寺集会所

三喜田 虎太 神父

橋灯センター

三喜田 虎太 神父

笠岡教会

三喜田 虎太 神父

倉敷地域共同宣教室

三喜田 虎太 神父

倉敷・玉島・水島教会

三喜田 虎太 神父

玉野教会

三喜田 虎太 神父

津山教会

三喜田 虎太 神父

倉吉教会

三喜田 虎太 神父

鳥取教会

三喜田 虎太 神父

山口・島根地区

三喜田 虎太 神父

（二面に続く）

(二面からの続き)

それから、今年ヒロシマ・ナガサキの被爆、そして日本の敗戦から六十年目を迎えます。ヒロシマに生きる者として、平和の使徒に召されている私たちは、原爆のみならず、先の大戦で亡くなった方々、特に日本軍の侵略と戦争犯罪の犠

牲になった方々の永遠の安息を祈ると同時に、平和を願い、そのための具体的な行動を起こす決意を新たにいたしました。

また、これまで度々お知らせして参りましたように、広島教区は十一月二十三日に教区代表者会議

を開催いたします。

福音宣教の使命を身に帯びて、主の恵みに信頼しながら沖に漕ぎ出した私たち広島教区の進むべき方向性を共に考えるための会議です。教区民全体が、準備の段階から一つとなつてこれに取り組んで参りましょう。

### 十二月の教区宣教司牧評議会

#### 代表者会議の中心課題は小教区

十二月十二日、広島カトリック会館で

広島教区宣教司牧評議会(教区宣司評)が開かれ、二〇〇五年十一月二十三日開催の教区代表者会議の枠組み等について話し合った。

#### 〔代表者の選定〕

各小教区からは原則として一名の信徒代表が参加することとなり、各種団体と修道者代表については実行委員会が検討した上決定することとなった。また、司祭については、代表者会の前日にある教区の司祭大会に引き続き原則として全司祭が参加する。

#### 〔実行委員会が発足〕

これまでの準備委員に三名を増員し実行委員会に移行する。

#### 実行委員

- 梶山聰子 (広島地区)
  - 祇山 登 (広島地区)
  - 小松 敬 (岡山鳥取地区)
  - 鈴木 實 (岡山鳥取地区)
  - 藤本 弘 (山口鳥根地区)
  - 谷 隆太 (山口鳥根地区)
  - 後藤神父 (教区顧問)
  - 肥塚神父 (平和の使徒推進室)
- この他各地区より司祭一名ずつ追加

#### 〔場所と時間枠〕

代表者会議は十一月二十三日の午前十時から午後四時まで、司教座聖堂(広島市鞆町)を中心に開催する。

#### 〔ポスター〕

ポスターを作成して、各小教区等に配布する。そのキャッチフレーズは「信仰イキイキ、明日の教会」とする。

### 教区の青年動き活発に ネットワークミーティング(NWM)が刺激に



たちにも刺激を与え、地区間の交流を活発にする新しい動きとなっている。

これまでも特に広島地区と岡山鳥取地区の若者の交流はあつたが、地区としての活動がほとんどない状態の山口鳥根地区を助けるために他の地区が働きかける動きが始まった。サビエルフェスティバルの青年主催前夜祭もこうして行われた。

(関連五面・六面)

#### 〔その他の提案〕

Q&Aを利用して、代表者会議について広く信徒に認識してもらうこと。実行委員が小教区に出前して、アドバイスや説明を行う。

#### 二〇〇五年教区テーマ

二〇〇五年は「終戦(被爆)六十周年」、「聖体の特別年」、「教区代表者会議の年」である。これら三つの事柄を念頭に置きながら十一月末までに出された七つの案の中から、二〇〇五

#### 聖体年の取組

教区全体としての行事は行わないが、五月二十九日の「キリストの聖体」の祭日に地区ごとに関連行事を実施してどうかという提案が司祭評議会からなされていたが、その具体的内容についてそれぞれの地区で検討することが決定された。

#### 教区代表者会議

#### 〔Q&Aによる説明〕

代表者会議について、全信徒に理解してもらうため

## 『信仰イキイキ、明日の教会』

一つのこころ、一つのからだ

### 教区代表者会議への取り組みの現状

十二月十二日の教区宣教師牧評議会で、各地区からそれぞれの地区の小教区における取り組みについての報告がなされた。

それによると、全ての地区の各小教区において取り組みが始められている。しかし、その進み具合についてはばらつきがあり、全ての信徒に代表者会議に向けての意識を浸透させる必要性があることが指摘された。

ここでは、いくつかの小教区・地区の取り組みについてレポートさせてもらった。

#### 「代表者会議の状況」

#### 〈岡山教会〉

取っ掛かりに、十年間の信徒の実勢を統計的に調べました。受洗者(年三十八人)が帰天者(二十人)より多いのに実数は六人ずつ減っています。原因は不明者の多さです。信徒フォロワーの無さと、信仰生活の在り方が見つかっていない事によるようです。次により多くの信徒に自分の問題として関心を持っていただくため、

上の事を説明してアンケートを(主日の四回のミサ中、全員三六〇名に)しました。今回は信仰生活(祈り、御言葉への親しき、霊的分かち合いの有無)と、キリスト教と教会が現代社会の問題を解決する力があるかどうかを訊ねました。「信仰の友がいない」二二・四%。現代の問題を解決する力は「教会」が「福音の教え」より二十%前後低かったです。次のアンケートを計画中です。

#### 〈観音町教会〉

観音町教会が、このテーマに向けてスタートしたのは、十一月二十一日に、斉藤神父さんがミサの説教の中で呼びかけられたことに始まります。

たまたま当教会では、九月十九日に運営委員が二十名参加して「これからの教会運営」について、約五時間かけて話し合いをしていました。そこで出てきた意見は、殆どが来年の代表者会議のテーマと重なり合っていました。そのようなことから、各担当部に、九月十九日の会議で出た意見を、今後進めていく方向に

結び付ける四つの視点からまとめてもらい、来年二月二十七日(日)までに具体的な提言をもらうように要請したところです。

#### 〈山口・島根地区〉

山口・島根地区の取り組みとしては、七月に各教会、学校、施設等それぞれの現在地を知るということで、二〇〇三年一月に取り上げられた地区の課題六つ(①キリスト中心の教会作り、②共同宣教師牧体制の推進、③アジアとの連帯促進④幼児教区への貢献と推進、⑤諸宗教との対話促進⑥イエズス会員としての姿)を含む、教区の動きを合わせた資料二種約百四十部作成。司祭、十五の女子修道院、信徒会長、信徒協委員、学校、施設、信者養成小委員へ配布。十月末を第一期、十二月二十五日を第二期として、それぞれの取り組み状況や現状、課題の報告提出を依頼した。また、十月には代表者会議に向けての「Q&Aその一」を配布。十一月八、九日にかけて地区の課題①②④について司祭と信徒の研修会を小野田で開催した。

## 帰天 ジェラルド デゲント神父



デゲント神父様との思い出を拾ってみたい。ミサ後に信徒ホールで歓談をする人が増え、いつしか神父様とお食事に出かけるようになりました。神父様とお話する機会は勉強会をのぞきあまりありません。食事に行くと神父様はよく冗談を飛ばされ私達を楽しませて下

淳心会司祭デゲント神父は、一九二九年ベルギー国生まれ。五十三年来日。五十四年より、倉敷、米子、豊岡、境、金剛の各教会を経て、淳心会日本管区長(七十六、八十二年)。退任後も鳥取教会、倉敷・水島・玉島教会チームメンバーとして司牧にあたり、再度鳥取教会主任在職中、二〇〇四年十月十一日に膵臓癌のために帰天。(山川雅博記)

月	日	内容
1月	1日(出)	平和ミサ(カテドラル)
	11日(火)	司教顧問会議 14:00
	24日(申)	~25日(内)教区司祭の集まり及び新年会
2月	1日(火)	司教顧問会議 16:00
	2日(水)	教区司祭評議会 10:00
	6日(日)	玉野教会 公式訪問・堅信式 10:30
	14日(日)~18日(金)	臨時司教総会
	20日(日)	教皇来広平和記念行事
	25日(金)	教皇来広記念ミサ
3月	8日(火)	司教顧問会議 14:00
	20日(日)	枝の主日ミサ(カテドラル) 9:30
	23日(水)	聖香油ミサ 16:00 [15:00~教区司祭の集い]
	27日(日)	復活の主日ミサ(カテドラル) 9:30
	28日(日)~30日(月)	中プロ(サビエル高校)

# 世界平和記念聖堂献堂五十周年記念 十二月三十一日に閉幕 世界平和への道しるべの役割続く

世界平和記念聖堂献堂五十周年は、この聖堂が戦争・爆発からの単なる復興のシンボルではなく、世界平和への道しるべとしての務めをもっていることを改めて確認した一年であった。教区レベルの行事としては八月五日記念ミサを行った。(本紙五十八号記載)

## 〔実行委員会〕

二〇〇二年末に「五十周年記念教区行事計画立案会議」が数回開かれ、教区宣教師牧評議会の承認を得て、二〇〇三年六月に「世界平和記念聖堂献堂五十周年実行委員会」が発足した。

## 〔部会の活動〕

総務部は主に各部会の総括、渉外、会計などを担当。霊性・典礼部会は献堂

五十周年記念の理念の確立と、霊性を深めるため、八月六日の記念ミサの典礼の企画、毎月の『献堂五十周年ニュース』の発行、祈りの集いの主催をした。

平和活動部会は、「ラッサル神父の思い出を聞く会」、森滝春子さんや篠田英明さん、渡部朋子さんの講演会、聖堂スケッチ募集を主催した。

## 記念聖堂存続維持部会

聖堂の過去の補修に関する資料を集め、これまでは職町教会だけで費用の調達などを行ってきたが、今後は教区全体で組むようにその基盤作りを続けている。

記念誌部会は聖堂に関する写真や資料の整理を行い、記念誌発行を準備している。

## 〔各種巡礼〕

五十周年を機会に教区内の十の小教区より記念聖堂への巡礼があり、その他ポーランドやベトナムへの平和巡礼も行われた。

## 〔世界平和記念聖堂スケッチ受賞作品の表彰〕

聖堂のスケッチには百七〇点の応募があった。その中から二十三点がノミネートされ、十八点が入選した。画家の青葉祝さん(職町

教会)を審査委員長とする最終審査には三末篤實司教も隣席した。表彰式は十二月十九日九時三十分の司教ミサの中で。入選作品は一月十五日まで世界平和記念聖堂内に展示される。平和の歌二点応募。入選なし。



ラッサール賞 占部俊祐の作品

## 姉妹教区交流

### 変わりゆくナカル

守光博彦(尾道教会)

七月、主任司祭の山口神父とフイリピンのナカル教会を訪問しました。今年是世界平和記念聖堂献堂五十周年を記念しての訪問で、私は四回目訪問でした。インフアンタの町からナカル村へはアグス川を渡ります。かつては昔ながらの渡し舟でした。最近少し上流に橋ができ、道路も舗装されて、今では首都マニラ

## 〔閉幕祈りの集い〕

三十一日午後十時四十五分、世界平和記念聖堂における五十周年閉幕の祈りの

## 〔スケッチ受賞者リスト(敬称略)〕

ラッサール賞	占部 俊祐	5歳	広島マリア幼稚園
司教賞	岩井裕太郎	小2年	広島マリア幼稚園から応募
世界平和記念聖堂賞	竹野下明音	小2年	広島マリア幼稚園から応募
世界平和記念聖堂賞	飯山 笑夏	小3年	呉教会
世界平和記念聖堂賞	猪川 俊	5歳	広島マリア幼稚園
がんばりました賞	上原 瑞葉	6歳	広島マリア幼稚園
がんばりました賞	田代 寛治	6歳	広島マリア幼稚園
がんばりました賞	山崎 太一	7歳	祇園教会
がんばりました賞	飯田 恵	小6年	観音町教会
がんばりました賞	井手湖 満	大人	廿日市教会
がんばりました賞	高木さやか	小5年	観音町教会
がんばりました賞	寺川 雄貴	小4年	広島マリア幼稚園から応募
がんばりました賞	面出 望	小1年	祇園教会
がんばりました賞	長野 裕二	小2年	観音町教会
がんばりました賞	後藤 智大	6歳	聖母幼稚園(職町)
がんばりました賞	和田里 花	小4年	祇園教会
がんばりました賞	杉山 京子	高1	呉教会
がんばりました賞	平野 俊博	大人	職町教会

集いが行われる。各小教区でもそれぞれ日時を決めて閉幕の祈りをする。

## 第16回 聖トマス小崎 巡礼のお知らせ

二〇〇五年一月六日、九時三十分からのミサ後、三原教会を出発し、JR本郷駅まで十三キロを歩きます。本郷駅十五時頃到着の予定。弁当持参。小雨決行。連絡先は阪田光昭(電話〇八四八一六九一〇〇〇三)です。

## 殉教者数の訂正とお詫び

二〇〇三年にカトリック広島教区より出版された『広島教区 殉教地・巡礼地案内二〇〇三年版』の中で、殉教者数に誤りがありましたので訂正いたします。

訂正箇所は六〇ページの「津和野」の「死亡」欄で、三九は誤りで三六が正しい数です。

訂正をお願いし、御迷惑おかけしましたことお詫びいたします。

(同誌編集委員)

サビエルフェスティバル  
二〇〇四

十月十七日(日)、司祭、修道者、信徒、幼稚園関係者が大人と子供合わせて約



平和公園に持って行く千羽鶴の奉納

千人集まり、サビエル祈念聖堂前広場と山口天使幼稚園を会場に「サビエルフェスティバル二〇〇四」が行われた。

広場では、十時から大阪大司教区長池長潤大司教の司式のミサと講演、各教会と小野田老人ホームが平和への取り組み、青年は広島で九月に行われたネットワークミーティングについてパネル展示と発表、出雲教会は劇「永井博士の如己堂物語」を演じた。

駐車場には、教会やファミリーピンのグループによる出店で様々なご馳走が並び、幼稚園の園庭には、十三の



平和を願って紙の鳩を飛ばす

幼稚園がゲームや竹とんぼ作り、ビーズなどを売る店を出し大いににぎわった。閉会式には、紙風船の鳩を空に飛ばし、平和を願った。

どんな教区よその教区⑬  
大分教区

大分教区は大分県、宮崎県で成り立っている。身近なところに海あり、山あり、川あり、温泉ありと自然に恵まれたところでもある。

大分市から車を走らせ国道10号を南下、宮崎県との県境を越えたら急に日差しが「みやざき」と感じる。今、宮崎県日南市がNHKの朝のドラマ「わかば」の舞台にもなっているが、もし大分弁が男言葉なら、宮崎弁が女言葉といえるかもしれない。

戦国のキリシタン大名大友宗麟の地である豊後府内(大分市)には日本で最初の司教座が置かれた(1588年)ところであり、南蛮文化が開花したところでもある。

大分県庁前の遊歩公園にはフランシスコ・ザビエル像、騎馬姿の伊藤ドン・マンシオン像、日本初の洋式病院が建設され、アルメイダが日本人助手と共に手術を行おうとする西洋医術発祥記念像、西洋音楽発祥記念碑、西洋劇発祥記念碑、育児院と牛乳の碑がある。

1961年司教区に昇格し、初代平田三郎司教、平山高明司教と続き、現在3代目宮原良治司教が着座しているが、2011年には教区創立50周年を迎える。

日本で最年少の教区司祭がいる当教区は、邦人の教区司祭の平均年齢も一番若い教区である。

大分県はサレジオ会、宮崎県はザベリオ宣教会と協力しながら司牧・宣教に日夜努力している。

現在、組織・役務の見直しなどを行っているが、宣教会、修道会、教区の垣根を乗り越え、教区をどのように育てていくか、新たなチャレンジの時期が訪れはじめていような気がする。

(森園靖信神父)

広島教区司祭大会を終えて(1)  
Sr.春日圭子

神さまが！わたしたちの日常生活の中に来て下さいました、アレルヤ！！

去る、八月二十九、三十日にかけて「広島教区 司祭大会」が司教館で行われ、約二日間の集まりは、とても有意義な時であったと感謝!! F分科会に「滞日外国人との共生、共働」をテーマに入れて下さる。発題者はFr.尾島(ブラジル)Fr.レネ(Fイリピン)のお二人。国の文化、言葉、習慣、現象の違いはあっても、お二人の共通点は、滞日外国籍のかたたちに「居場所」を

与えること。暖かい関わり、教会内での共なる活動や、リーダー養成が呼び掛けられる。また、聖ペトロの手紙から「教会は家の無い人や、場所の無い人の家になる」それで、全ての壁を乗り越えて、兄弟姉妹共同体、多国籍多文化教会を建て、と。そして、そのような教会共同体の中でこそ、信仰と交わりが成長し、一人一人のアイデンティティーや価値観が清められ、強くなるのではないかと。益々多くなる外国籍のかたたちが住み良い社会は私たちも楽しく、住み良い!! デスネ!!



私は日本に来て、五年になりました。日本に来た目的は唯一つ、それはイエス・キリストの福音を述べ伝えることです。この目的を果たすために



ヨチヨチ歩きの  
新司祭です。

松江教会  
ギャリー神父(淳心会)

自分の国フィリピンと、その文化、家族、友人から遠く離れて、日本という新しい国へやってきました。この五年間、いろんな教会に行つて、いろいろなことを学びました。

日本で福音を述べ伝えることは簡単ではありません。外国人としていろんな面で日本の社会に入ること、は難しく感じています。最

初は言葉の難しさを乗り越えること、そして文化の違い、今でも山ほどたくさん、今でも知らないのです。しかし苦勞ばかりではなく楽しいこともたくさんありました。それはなんと、信者の皆様の優しさ、温かい心をたくさん感じる事ができたことです。私の日本語が分からなくても理解してくれました。それは本当に大きな喜びです。

まだまだ体験少ない司祭として、教会で働くことはエネルギーがすごくかかり

準備をするとき、いろんなことを考えなければなりません。内容や言葉のニュアンス、発音も準備しなければなりません。日本語は難しいとよく感じるけれども、日本に来たことは後悔したことはありません。私はいつでもどこでも、家や友人ができる信じているから心配しないで日本に来ました。ですから私は日本で幸せに宣教師として神様の福音を述べ続けたいと思います。

世界青年大会 (WYD)  
ケルン (ドイツ) 大会参加者募集

10万円でいけるかも!

- ◎コース…いずれかを選んでお申し込みいただきます。  
A) 8月9日～25日 (ルクセンブルグ+本大会+ケルン教区交流会)  
B) 8月9日～23日 (ルクセンブルグ+本大会)  
C) 8月15日～25日 (本大会+ケルン教区交流会)  
D) 8月15日～23日 (本大会のみ)
- ◎参加資格 (大会参加時点で)  
年齢: 18歳 (高校生を除く) ~ 35歳まで
- ◎費用旅行代金 概算 25万円  
(その他関西空港までの往復費用必要)
- ◎申込先・問合せ…ファックス、Eメール、郵便で  
シスター コンソウラ  
広島教区青少年情報センター  
〒730-0016 広島市中区熾町4-42 Tel/Fax 082-221-0664  
e-mail: hsjc@hiroshima.catholic.jp

● 広島教区代表募集 ●

広島教区として代表者4名を送りたいと思います。代表者には教区からの10万円の補助と、5万円ほどのカンパを考えています。「WYDに何を求めますか」というテーマで800字以上の作文を書いて、上記申し込み先に提出してください。申し込み締め切りは1月25日消印有効です。広島教区青少年情報センター運営委員会リーダーの部で選考させていただきます。

今年も中プロだよ!

三月二十八日から三十一日まで、サビエル高校(小野田市)で、教会やミッションスクールに配布される案内・申込書を参照。

青少年情報センター  
運営委員に若者リーダー

それぞれの地区で若者の活動をサポートしているリーダーたちによる青少年情報センター運営委員会

広島地区青年の集まり

十一月二十七日、熾町ラサール会館で久しぶりとなる広島地区青年の集まりが行われた。今後、毎月第四土曜日に集まりが開かれる。

リーダーの部が誕生した。今後はここからカトリック青年連絡協議会に代表者を送ったり、教区レベルの若者の情報交換や活動を支援する。



暖冬の予報。春物衣料がすでに売れているそう。今年はずっと異常気象が続く混雑させられた。苦しみのない喜びはないが、天災の苦しみは困る。冬の厳しさを味わい、復活の春をじっくりと待ち望みたい。(Y, K)



週刊カトリック新聞

へえ、日本の教会は今こうなんだ・・・  
ザビエル

カトリック新聞は、日本のカトリック教会唯一の週刊全国紙です。全国、海外の購読者様のお手元へ毎週直送いたします。全国のサンパウロ・女子パウロ会書店でも販売しております。

http://www.cwjpn.com

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 カトリック新聞社 購読係  
日本カトリック会館5階  
TEL 03-5632-4432 FAX 03-5632-7030 Email kodoku@cwjpn.com

1部本体価格158円(税込・送料別)  
購読料金(前納、税・送料込)  
半年4740円・1年9480円

見本紙贈呈いたします  
下記へご連絡下さい